



秋から冬になりますね。

秋になり気温もだんだんと低くなって、冬が近づいてきましたね。そろそろ衣替えの準備をしている方も多いかと思います。高齢のワンちゃん、ネコちゃんは体温調節が難しくなっているので、暖かくしてあげましょう。



ワンちゃん、ネコちゃんに服を着せてますか？

ハロウィンでは、ワンちゃん、ネコちゃんに仮装をして楽しく過ごされた飼い主さんいるかと思います。ワンちゃん、ネコちゃんに洋服を着せるのは、より可愛く見せるという事もありますが、その他のメリットについてご紹介します。

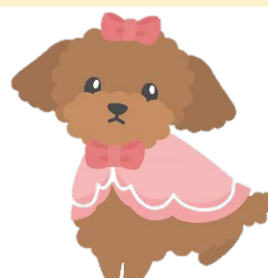
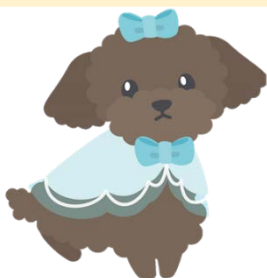
洋服を着せるメリット

1、皮膚の保護ができる

毛の長いワンちゃんは、一見守られているように見えますが、汚れがからまりやすかったり、ダニや蚊に刺されても気付けないことがあります。そんな時、洋服を着せてあげることで、ワンちゃんの毛や肌を守ってあげることが出来ます。

2、寒さ・暑さを軽減

夏の直射日光、紫外線から肌を守り、水に濡らして着ると暑さ対策も出来ます。毛の短いワンちゃん、ネコちゃんは寒がりな子が多いです。洋服で夏場のクーラー対策、冬の防寒対策になります。高齢の場合や病気を持っていると、体温調節が難しくなるので、洋服などで調節してあげましょう。





3、抜け毛対策

ワンちゃんの抜け毛が床に落ちることを防止できます。他にも、体に薬を塗っている時やカフェや室内で毛の飛び散りを抑えたい時などに洋服は役に立ちます。レインコートは雨の日の散歩で泥除けになり、散歩後のお世話が楽になります。手術の後やケガをしている時など、ワンちゃん、ネコちゃんに体を舐めて欲しくない時に洋服を着せてあげると安心です。



4、洋服嫌いにならないコツ

最初に洋服を着る印象を悪くしないように、洋服を着る練習をしましょう。ワンちゃんネコちゃんの快適さを最優先にして必要な時だけ洋服を着せてあげてください。まずはいやがらないようご飯やおやつなど良いことと関連付けて、少しずつ慣らしていきましょう。また長時間、洋服を着せていると毛玉になりやすく皮膚のトラブルになってしまうことがあるので、注意が必要です。



《洋服を着せる時の注意》

- ボタンやリボンなど装飾がある洋服は、誤飲に気を付けてあげてください。
- 毛が長いワンちゃんの場合、服を着せると毛玉になり易いので、定期的なブラッシングが必要です。
- 毛玉になると通気性が悪くなり汚れが溜まりやすく。皮膚病になる可能性が高くなります。

学べるワンニャン語クイズ



問題1：叱ったら、寝転がってお腹を見せる。

そんな時の気持ちは？（答えは下です）

- ①.ごめんなさい。もうしません！！
- ②.遊んでー！
- ③.こうすれば怖い顔をやめてくれるでしょ？

問題2：ネコちゃんが顔や耳を前に向けて、体を小さく丸まって伏せているポーズをする。

そんな時の気持ちは？

- ①.おやつくれるのかな？
- ②.なにか嫌なことが起こりそう・・・
- ③.虫がいるー！！



プチ情報

52人以上の命を救った救助犬

今年9月に入ってメキシコを襲った大地震での救助活動のなか、救助犬の「フリーダ（Frida）」が話題になっています。フリーダは、この4年のキャリアで52人以上もの命を救っています。今回のメキシコ南部で起こった地震だけでも、フリーダは12人を救出したそうです。埃から目を守るためにしっかりとゴーグルを装着し、瓦礫を歩くため、足を傷つけないように4つの足の保護靴も装備！ツイッターでフリーダの動画が投稿され、フリーダは一気に話題の救助犬になりました。



ネコちゃんはなぜ箱が好きなの？

箱を開けて中身を取り出した時、すっぽり収まるネコちゃん・・・この状況、猫を飼っている飼い主さんなら誰も一度は経験があるはず。猫は単独で行動する動物なので、警戒心が強いです。また、“箱に隠れる”という防衛本能が働いていると考えられています。1日の多くを寝て過ごします、寝てるときは無防備な状態になるので、箱に身を隠すということにつながっているようです。



答え

問題1：③ 怒っている飼い主さんに対して、謝っていたり、反省しているわけではありません。おそらく、以前たまたまおなかを見せたら、飼い主さんが叱るのをやめたことから学習し、嫌な状況を回避するためにやっているのでしょう。

問題2：① 飼い主さんにかまってもらいたいときや、食事や遊びのときなど、猫にとって「いいこと」を期待しているときに見せるポーズ。同じ体勢のまま静止しているのは、期待して、その機会をじっと狙っているためです。

臆病にならないためには

犬にも様々な性格があり、怖がりな臆病な性格の犬もいます。臆病な性格の犬は慎重であるとも言えますが、常に警戒してビクビクしているためストレスを感じてしまいます。

性格は持って生まれたものもありますが、飼い主さんの接し方や生活習慣が犬の性格に影響を与えることもあります。臆病にならないようにするには、社会化期と呼ばれる生後3週～12週の間を外へ出して様々な刺激を受けさせてあげることが大切です。



そして、飼い主さんが頼れる存在となって愛犬に安心感を与えてあげましょう。そうすることで愛犬は不安を感じる場面に遭遇しても、「飼い主さんがいるから大丈夫！」と勇気が持てるようになるはずですよ。

お金をもらうことが得意なネコちゃん

「見知らぬ人から、お金を貰うことが得意なニャンコ」が、ネットで密に話題になっています。マーケティング会社で飼われている元捨て猫「ワインズ」君。従業員が退社した後も、ずっと会社に残っているニャンコです。

毎朝、会社に社員が出勤すると、不可思議な現象が起こるように……。なぜか理由は不明だが、会社の入口のガラス戸の内側に、毎朝何枚か1ドル紙幣が落ちているのである。

なんと、通りがかりの人が、オモチャ代わりに1ドル紙幣でワインズと遊んでいるうちに、ワインズがお札を奪っていました。



そんなビックリな特技を持つワインズですが、もともと捨て猫でした。現在は、稼いだお金をホームレス救済団体に寄付しています。

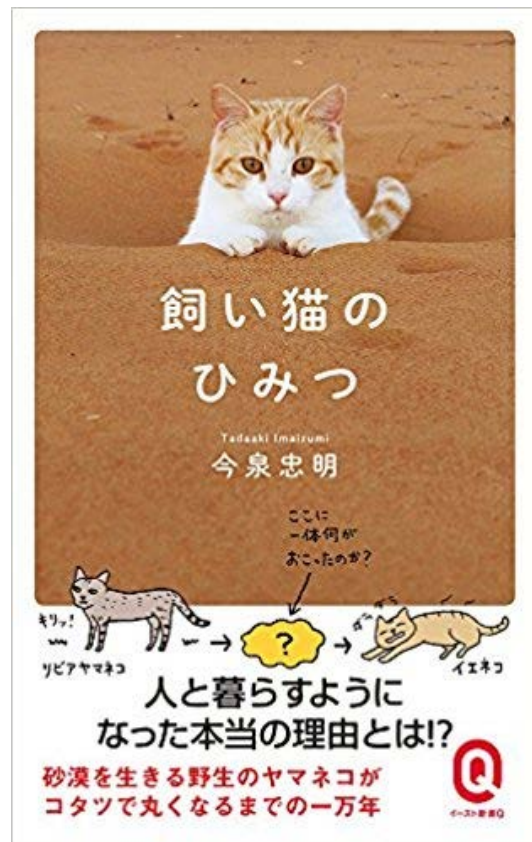
本の広場

飼い猫の秘密(イースト新書 Q)

「砂漠に生きる野生のヤマネコがコタツで丸くなるまでの1万年」というとてもユニークなキャッチフレーズで、つい手に取りたくなりますよね。

ヤマネコからイエネコになるまでの歴史がわかりやすくまとめられています。もともと猫には不思議が多いとされています。

そんな興味深いネコちゃんたちの生き様も、約200ページに幅広くネコちゃんのお秘密が詰め込まれています。写真やイラストの掲載もあり、面白い見出しもあります。



ある程度ネコちゃんの知識がある方もネコちゃん初心者の方も十分に楽しめる1冊になっています！